


海外感染症情報

検査管理課

☎フリーダイヤル 0120-14-8734

発生地域	更新年月日	情報内容
—	2014年03月19日	東アジアと東南アジアにおける麻しんの流行状況について（更新1）★
—	2014年03月19日	中東呼吸器症候群（MERS）の発生状況について（更新9）
アフリカ	2014年03月18日	カメルーンにおけるポリオの発生状況について
東アジア	2014年03月18日	鳥インフルエンザ A(H7N9) の発生状況について（更新31）
大洋州	2014年03月17日	フランス領ポリネシアにおけるジカウイルスの発生状況について（更新2）
中南米	2014年03月17日	カリブ海諸国におけるチクングニア熱の患者の発生状況について（更新6）
大洋州	2014年03月14日	フィジーでデング熱が流行しています

情報源：厚生労働省検疫所ホームページ(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

★【2014年03月19日更新 東アジアと東南アジアにおける麻しんの流行状況について(更新1)】

麻しん（はしか）は、麻しんウイルスによって起こる病気です。空気感染、飛沫感染、接触感染によって、人から人にうつります。その感染力はウイルスの中で最も強く、麻しんを発症している人と同じ部屋にいただけで（空気）感染することがあります。また、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、肺炎や脳炎などの重い合併症を起こすこともあります。

世界保健機関（WHO）西太平洋事務局（WPRO）から公表された情報によりますと、今年1月に麻しんの患者の報告数が多かった上位3か国は、中国、フィリピン、ベトナムでした。これらの国における確定患者数は、中国が1,717人、フィリピンが911人、ベトナムが474人でした。

日本の患者発生動向調査では、2013年11月25日から今年3月10日の間に、フィリピンへの渡航歴がある麻しんの確定患者が42人報告されました。また、3月17日時点で、2013年12月から今年3月の間に、病原体微生物検出情報に麻しんウイルスの検出が報告された135例のうち、渡航歴があったのは50例でした。そのうち、フィリピンへの渡航歴があったのは41例（B3型39例、D9型1例、型不明1例）でした。

麻しんは予防接種で予防することができる病気ですが、予防効果を確実にするためには、2回の接種が必要です。現在、1歳と小学校入学前1年間の子どもに対して、計2回の定期的予防接種が行われています。海外の麻しんの流行がみられる地域へ渡航する前には、母子健康手帳などで、予防接種歴を確認してください。麻しんにかかったことがない方で、麻しんの予防接種を受けたことがない方や1回しか接種していない方、または予防接種を受けたかどうか分からない方は、渡航する前に、早めに医師に相談してください。 ～抜粋～